

すすむ国際交流・姉妹都市

北陸の「空の玄関」小松空港を擁する小松市では、地域の若者に国際感覚を身に付けさせるべく、「青年海外派遣事業」を昭和四十五年（一九七〇）か

ら実施してきた。

昭和四十七年七月

にブラジル・スザ

ノ市、同四十九年

五月にベ

ルギー・

ビルボー

ルド市と

それぞれ

姉妹都市

となり、

同五十四年には小松市青少年

吹奏楽団の「韓国派遣事業」

も行われ、南米、欧州、アジ

アと世界的視野に立って国際

交流事業を展開してきた。

さらに平成期に入ると、同

三年（一九九二）英国・ゲイ



ベルギー・ビルボールド市



ブラジル・スザノ市

ツヘッド市と姉妹都市提携を結び市制五〇周年では、「皆で考える小松と世界」と題して市民ホールで国際化フォーラムも実施し、姉妹三市合同の市民美術展も開催した。その後、中国・濟寧市とも姉妹都市となり、友好都市となった桂林市とともに日中国際交流



イギリス・ゲイツヘッド市

の輪を広げてきた。この他に韓国・昌寧郡、ロシア・アングラスク市とも友好都市となり、市国際交流協会を中心に「環日本海」の国際交流・文化交流を推進せしめている。

スザノ・ビルボード両市は、コマツの南米・欧州の拠点でもあり、文化交流のみならず、経済・産業交流の面からも極めて重要な役割を果たしてい



中国・桂林市

る。

またゲイツヘッド市とは日英、済寧市とは日中の国際文化交流を推進しており、平成二十一年九月には英国ベストパークにも選ばれたゲイツヘッド市ソルトウエル公園に「小松友好の庭」が造園された。これは平成二十三年が両市の姉妹都市二〇周年にあたり、一〇周年記念にゲイツヘッド市が小松市



韓国・昌寧郡

に英国式庭園を贈ったお返しに枯山水かれさんすい式の日本庭園を造園したもので、正式な開園式は二〇周年記念時に行われる。

米国の金融危機やEUのギリシア財政危機等で国際社会が混乱し、BRI Cs（ブラジル、ロシア、インド、中国）に注目が集まる中、今後インドも含む小松市の一層の国際交流の進展が期待されている。

（平野 優）